

第6回宮津市宿泊税検討委員会の開催に当たって

第6回における確認事項

新観光財源としての「宿泊税」の導入検討を深めるに当たって

【「宿泊税」について】

- ◆一定の財源規模を確保し、観光による受益者を幅広く設定できる
…地方税
 - ◆「観光振興の財源」という用途を明確にできる（納税義務者にも理解しやすい）
…目的税
 - ◆課税対象の捕捉のしやすさ、収入規模の確保の可能性
…宿泊税
- ⇒「地方税・法定外目的税」としての「宿泊税」導入についての確認

第5回委員会で意見交換を行ったが
もう少し「先行して導入している団体」の状況などを共有した上で意見交換を継続するとしたところ

【「宿泊税」の負担のあり方】

- ⇒宿泊施設（民泊施設を含む）への宿泊行為に対して
- ⇒1人1泊につき200円（一律定額制）で
- ⇒免税点を設けるべきか（一律で徴収するべきか）
- ⇒独自の課税免除は設けない
- ⇒特別徴収として、特別徴収交付金制度を設け
宿泊事業者の負担を考慮（導入初期にも支援）

【税率について】

【免税点について】

【課税免除について】

【特別徴収義務者への支援等】

【税率について】 これまでの方向性：1人1泊につき200円（一律定額制）で

先行して導入している団体の状況		
一律定額制	28団体	150円：1団体、200円：25団体 300円：2団体
段階的定額制	22団体	
定率制	12団体	

＜事業者の主なご意見＞

- ◆ややこしくないシンプルなものにしてほしい。
- ◆税額は安いにこしたことがないが定額でよい。
- ◆税額が変わる仕組みは宿を一人で切り盛りしている現状から計算が煩雑になり一律定額制がよい。
- ◆入湯税と税額を合わせるなど説明しやすい制度設計にしてほしい。
- ◆安価な宿泊料金設定であり仮に200円になると負担感が大きいことから慎重に制度設計を行うべき。
- ◆小中学校の団体は宿泊価格重視で施設を選定するためこの上げ幅は客離れに直結する懸念がある。
- ◆入湯税と合わせると350円お支払いいただくことになるので入湯税と合わせて300円にしてほしい。

【免税点について】 これまでの方向性：設けるべき or 一律で徴収するべき

先行して導入している団体の状況		
設定あり	14団体	5000円：3団体、6000円：9団体 8000円：1団体、10000円：1団体
設定なし	48団体	

＜事業者の主なご意見＞

- ◆宿泊料金が低く、高齢者がやられているところに配慮し、設定した方がよい。
- ◆簡易宿所であり、一律200円の課税は負担感が大きい。免税点を設けるなど低価格帯の利用者や施設を保護する仕組みを設けてほしい。
- ◆低価格帯の宿泊については免税とするなど、一律徴収を避けるべき。
- ◆宿泊料金が低いからとらないのはどうか。宿泊料金が仮に3000円であっても享受する観光コンテンツは同じである。
- ◆1泊いくら未満を免税にする案もあるが、計算が煩雑になるくらいなら、いっそ一律の方が事務は楽。ただし、低価格帯の施設にとっては200円の重みは違うため、慎重な検討が必要である。
- ◆免税点については設けない方がよい。価格がシーズンで変動することもありややこしいと感じるため、金額で境界線を引くことで管理を難しくさせる。
- ◆一律で徴収する方が望ましい。皆さんから平等にいただいた方がよい。
- ◆一律で徴収する方が望ましいとは考えるが、低価格の施設については影響が大きいので、慎重に検討してほしい。

【課税免除について】 これまでの方向性：行わない

先行して導入している団体の状況		
設定あり	51団体	修学旅行：51団体、保育所等の行事：30団体、団体が主催する大会：6団体、12歳以下：7団体、その他：8団体
設定なし	11団体	

＜事業者の主なご意見＞

- ◆入湯税は15歳未満は課税されない。宿泊税も入湯税に合わせるならわかりやすい。
- ◆子どもの体験を伴う宿泊やビジネス利用も課税免除すべき。
- ◆観光振興の必要性は理解しつつも、教育施設が一般の観光ホテルと同じ枠組みで扱われることに疑問を持つことから、一定の配慮をお願いしたい。学校関係による利用を課税免除の対象として検討してほしい。
- ◆入湯税は子供（中学生）以下にかからないのが一般的。宿泊税が0歳から一律となると入湯税はかからないのに宿泊税のみかかるということになり現場での説明が非常に難しくなる。年齢基準を合わせるなど、説明しやすい制度にしてほしい。仮に一律で200円とするなら、入湯税に合わせて大人からのみとする方が、お客様の納得感を得やすい。
- ◆課税免除については、対象か対象でないか判別が難しく、現場でのオペレーションは非常に難しくなると思う。
- ◆課税免除については設けず、皆からとるのがよい。税収を逃すのがもったいない。